

手打トンネルが貫通

「甌島縦貫道」の一環担う



燃焼実験に見入る参加者ら
=鹿兒島市喜入町の現地で

県甌島土木事務所発注の手打蘭半田港線「道路改良工事(手打トンネル1工区)」手打トンネルが貫通。8日、薩摩川内市下甌町手打の現地で大本組・丸福建設・巡田建設特定JVによる貫通式が行われ、関係者約100人が出席、貫通を祝った。

式典では北園幸夫県土木事務所長、鶴巣富雄甌島土木事務所長、木原豊明川内労働基準監督署長、石原泉(株)大本組九州支店長らが貫通発破を行い、清めの儀の後、関係者らが通り初めをした。終了後は貫通点で記念撮影をした。

北園次長は席上、「無事貫通できたのは高度な技術力と安全施工の賜物である」とJVへの労をねぎらい「同路線は将来



貫通点で記念撮影する施工関係者
=薩摩川内市下甌町手打で



本郷晴美所長

強風の祈願祭が思い出

本郷晴美所長(大本・丸福)

平成15年8月1日に掘削を開始。同年9月12日に安全祈願祭を開催したが、当日台風の影響を受け、その日現地入りした人は参加できず、前日から来ていた方々と島在住の関係者で強風の中、開いたことを思い出した。

手打トンネルはNATM工法で、延長1370M(県道上で延長第10位)。道路構造は3種3級、設計速度50km/h。車道幅員6.5m、全幅8.5m(歩道なし)。工期は平成17年5月25日(800日間)まで。

また、手打蘭半田港線の道路改良事業(手打工区)は12年度に事業着手。区間は薩摩川内市下甌町手打・同町青瀬の延長4910M。主要構造物は手打トンネルのほか、青瀬トンネル(L1098m)、瀬尾大橋(L198m)、青瀬橋(L66m)、瀬尾橋(L16m)がある。全体事業費は90億円、事業期間は20年度まで(予定)。17年度以降は、16年度施工の瀬尾大橋上部工と共に青瀬トンネル、青瀬橋の整備を進める。

伐採現場等を見学

指宿地区木材協会(鶴田透会長)は11日、木質住宅資材利用促進事業の一環として指宿地区木造住宅構造見学会バスツアーを実施。指宿市や枕崎市、鹿兒島市などから50人が参加した。

木造住宅構造見学会バス

指宿地区の「地材地建」による住宅の建設現場や製材所、森林の伐採現場などを見学した。同日は出発を前に、鶴田会長が主催者を代表して挨拶した。

担当から当日の行動予定や「地材地建」の意味、森林の役割などについて説明を受け、最初の目的地である森林の伐採現場へ向けバスに乗り込んだ。ツアーでは、指宿市の森林伐採現場や製材所、協会の住宅建設現場(4カ所)の見学のほか、イタケ狩りの体験も行った。このうち、不燃材工

材(鹿兒島市喜入町)の南実治社長がファイヤーレターメント防燃水を注入した不燃材や準不燃材などについて紹介。また、燃焼実験も実施し、勢いよく燃え広がる未処理材とは対比的に、点火後も燃え広がらない防燃水を注入した処理材に参加者らは一様に驚きの表情を見せていた。



にぎわいを見せたガス展
=鹿兒島市の日本ガス住設で

あなたの街のミニガス展

ガス器具の良さを体感

日本ガス(株)の東部サービスチームと郡元サービスショップはジョイントイベントとして11、12日の2日間、鹿兒島市紫原の日本ガス住設(株)で「あなたの街のミニガス展・ほかほかセール」を開き、家族連れら約300人が

体感するなど終日ににぎわいを見せた。初日となった11日は、人気のガスビルトインコンロをはじめ、多機能給湯器、浴室暖房乾燥機、ファンヒーター、ガス衣類乾燥機など多くのガス器具がガス展特価で展示販売され、訪れた来場者は担当者の説明などに興味深く聞き入っていた。また、豆乳を使った健康料理教室やシュウクリームでクリスマスツリーを作る体験教室なども行われたほか、来場者全員に花の苗やポップコーンがプレゼントされた。

16年度土地家屋調査士試験 (本報関係) 松永 剛知 植元 明人

トンネルの岩盤状況は良質な岩盤で、手打側の半分は花崗岩、佐之浦側の半分は砂岩でした。どちらにも亀裂は多いものの、硬質の安定した岩盤で、

順調に月平均1000M程度の進行状況で進捗・貫通しました。トンネル勾配は、手前約100M以外は約3%の下り勾配。工事中の排水はポンプによる強制排水で、その維持管理には苦労しました。特にトンネル延長の約400M付近近までは当初計画より湧水量が多く、トンネル坑外に設けた濁水処理施設設備を増設しました。

今年には台風が多く、9月下旬に小さな穴で貫通したものの、台風21号の影響で貫通点の法面がすべり、地山を切り直して再び貫通させ、本日を迎えました。

遊具施設の塗替え等

日置郡建築振興会(永池重久会長)と県建築協会北薩支部(本田幸廣支部長)日置地区会員は合同で11日、日置郡金峰町の県立南薩養護学校で「建築の日」行事の一環で遊具施設の塗装塗替えや大工仕事、便器の詰まり除去等の奉仕活動をした。参加者は会員48社。長崎勝文同振興会事務局(竹下工業(株))の司会で出発式を行い、立山彰

「年末のお忙しい中、本校の補修を奉仕でやっていただけると聞きありがたく思います。保護者や子供たちと直したりするのですが、なかなかうまくはいきません。本日はよろしくお願いします」と礼を述べた。

永池会長(久久保工務店)が「12月4日に予定していた活動が雨で本日に延期になりました。内部の補修や遊具塗替え等が主な作業ですが、張り切ってやっていただきました」と挨拶。本田支部長(株)本田建設)は作業内容や注意事項について説明した後、大工班と一緒に補修箇所の確認や補修方法などを説明した。

永池 剛知 植元 明人

県とのパイプ役に

池田 洋さん

昭和37年に高校を卒業後、鹿兒島工業高校で実習助手として3年間勤めました。その後、県の土木部河川課に配属。川内土木事務所を皮切りに種子島や奄美

昭和37年に高校を卒業後、鹿兒島工業高校で実習助手として3年間勤めました。その後、県の土木部河川課に配属。川内土木事務所を皮切りに種子島や奄美